

あなたの関心ワード「コミュニケーション」に対して  
人間学群 障害科学類 の先生からの夢ナビ講義です。

## 困ったことにはチャットボットが答えてくれる

### 誰に相談する？

生活の中で困ったことがあったり、自分自身のことに悩んだりしても、誰にどこで相談していいかわからず、相談自体をためらうこともあるかもしれません。それはコミュニケーションの困難さを伴う発達障害のある人ならなおさらです。そこで、日々の困り事を問いかけると、対処法やアイデアを自動で提案するチャットボットが開発されました。

「障害」とは、個人が持つ特性ではなく、その人と周囲の環境との間にミスマッチがあることで起きる障壁だと考えられます。つまり、健常者を含めた誰にでも起こり得るものなのです。そこで、このチャットボットは発達障害の有無に関係なく利用できるように開発されました。

### 3年間の実証実験

応答する内容は、属性がさまざまな3000人ほどに調査をして集めた結果を入力してあります。スキルアップにも使えるような内容も含めて、悩み以外でも使えるようにしてあるのも特徴です。気軽にアクセスする工夫として、専用のアプリをインストールさせるのではなく、多くの人が使っている通話アプリを使用しています。

3年間の実証実験では、発達障害の有無にかかわらず、チャットボットの利用で生活の困難感が減ったという結果が出ています。キャラクターを設定してフレンドリーな雰囲気を出したことで、相談という用途だけでなく、24時間気軽に会話ができるツールとして使い、安心感につながったという意見もありました。今後の実用化に当たっては、システム内のやり取りにとどまらず、必要であれば福祉や医療などの支援サービスにつなげることも想定されています。

### 自分の色合いを活かせる環境を

誰もが、苦手なことや人と違うところを持っています。人は発達障害の有無という白黒の2色に分かれているわけではなく、それぞれに違った色合いを持つカラフルな存在だといえます。自分がどんな色を持っているかを自分自身がきちんと理解して、その上で敬意を持ってお互いの色合いを生かしていけるような環境をつくりだすことが望まれています。

この講義の学問分野 ▶ ⑦ 人間科学 / ⑤ 保健・福祉学



## 私が回答しました！

### 筑波大学

人間学群 障害科学類

准教授 佐々木 銀河 先生



人生を山登りに例えたとしたら、めざす山はそれぞれ違い、登り方もルートも違います。岩山を登る人もいれば、ロープウェイで登る人もいるかもしれません。もしかしら山頂に登らずに、草花を眺めて楽しむ人や、下りた後の温泉を楽しむ人もいるでしょう。どのような山にどのような方法で登ってもいいのです。それぞれのゴールにたどり着けるように、自分に合った選択やそのための装備を身につけていく必要があります。障害のある人がそれぞれのゴールを選択して、自分なりに登る方法を一緒に考えてみませんか？

### 筑波大学(茨城県) に興味を持ったら

筑波大学は、我が国を代表する研究機関集積地の筑波研究学園都市の中核を占める総合大学です。東京教育大学の伝統を受け継ぎ、柔軟な教育システムと専門分野を備え、学際性を重視しています。「学群・学類」制による学部段階教育、全教員の大学院所属による研究の重視、学生宿舎や課外活動など充実した学生生活支援などが特色です。今や“Tsukuba”ブランドは、研究成果とともに国際的にも高い評価があります。